



元気っ子通信

NO.63

平成 28 年 6 月 10 日発行

うっとうしい雨でも子ども達は軒下や木々の下で上手に遊び場を見つけ楽しそうに遊んでいます。1年生から6年生の集団生活に、4月の頃はとまどっていた1年生も上級生と関わって話しもでき仲良く一緒に遊んでいます。とは言え、トラブルはつきものです。仲裁に入ったり入られたりしながらうまく遊んでいます。やはり、兄弟姉妹のいる子は仲裁役として仲間をまとめるのがうまいですし、そういう姿を見てお互いに学び合い育ち合っていくのでしょう。

あいさつも自然に気持ちよく出来るように、「お帰り」「さようなら」等指導員が率先して手本を示すように心がけています。人間関係をスムーズにうまくするにはまず「あいさつ」です。良い社会人になっていくには今からが大事です。おうちでも家族同士気持ち良くあいさつする習慣をつけるといいですね。

先日、アメリカのオバマ大統領が広島を訪問され広島の子に篤い歓迎を受け、感動して大統領機に乗ってから外務省宛てに感謝の言葉を届けたという記事がありました。そして大統領が平和記念公園を後にしてからも、何千もの人が、供えた花を見に来たことを知り、広島、日本の人達と個人的なつながりが持てたと感動されたともありました。



広島の子も達は小学校時代から被爆者から戦争の恐さ、核の恐ろしさの話を聞き学ぶ時間があって戦争に対する意識が高いといわれます。

大統領の広島訪問をきっかけに他人事と思わずに新聞の記事から、テレビのニュースから子ども達と世の中の動きを話す時間をつくってみてはどうでしょう。短い時間でいいのです。

そんな時間の中で、自分の考えを自分の言葉で相手に伝え表現できるようになっていくと思います。日本の子どもはいい点数をとる技術はうまいが中身がないといわれるのは目に見えるものだけで評価しがちな社会の問題点だなと感じています。

子どもと話をしてその子の思いや考えを聞くことを心がけています。上手く話しをできるようにすると案外いろいろなことを言ってきておもしろいものです。楽しんで聞くとよけいに良い反応でかえってきます。ゆっくりあせらず続けていこうと思っています。

以 上